

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 20日

事業所名： わくわくクラブ（本厚木校）

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 9 | 0 | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 9 | 0 | ・指導員1名に対して子ども3名以上にならないように工夫している | ・適切な職員配置を心掛けている |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 8 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・部屋入口に動物などの絵で目印をつけて児童がわかりやすくしている ・現在バリアフリーが必要な児童がいないので、バリアフリー化にはなっていないが、それなりの配慮が必要である ・「ひよこ」「ぞう」など子どもが親しみやすいネーミングで部屋を分かりやすくしている ・レッスンの入り口に動物の顔を貼り、入室時に動物の名前でレッスンする部屋を伝えている | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報で分かりやすく伝わるように工夫している ・バリアフリーが必要な子どもが利用する場合は適切な対応をしていく |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動のときは、広い部屋を確保できている ・粗大運動を別の部屋で行っている | <ul style="list-style-type: none"> ・清潔で気持ちよく過ごせる空間を心掛け、活動に応じて部屋を変える |
| | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・気になる事柄があれば情報共有している ・職員全員が参画できるようにしている ・社員会議の内容を教室会議で共有している | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き行っていく |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見はスタッフ同士把握し、改善している ・イベント終了時にアンケートの記入に協力していただいている | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き業務改善に努める |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------|--|----|-----|--|---|
| 業務改善 | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8 | 0 | 未記入：1 | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | 4 | 未記入：1 | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修、内部研修と多くの機会がある ・定期的に会議や研修をし、各自の成長につなげている ・社内研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加している ・社内外の研修に参加する機会がある | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き職員の資質向上を図るため定期的に実施していく |
| | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとにアセスメントを行い、ニーズや課題を聞き取っている | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き継続して行う |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時や新年度に書面で回収している ・発達記録チャートを使用している | <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な視点を取り入れながら発達段階を把握していく |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況や特性に合わせて具体的な課題設定をしている | <ul style="list-style-type: none"> ・より良い計画作成のため具体的な支援を設定し、子どもの特性に合わせた支援を行う |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議などで確認しながら話し合っている ・職員全員が計画内容を把握し、日々の支援に活かしている ・会議で支援計画が共有され、レッスンに取り入れられるようにしている | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きより良い支援を行っていく |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・月1の会議でその月毎のプログラムを共有している ・会議や打ち合わせの中で意見を出し合い、話し合っている | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議を継続していく |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|--|----|-----|---|------------------------------|
| 適切な 支援の 提供 | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 9 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・他教室のプログラムや教材を参考にして工夫している ・月ごとに内容を変えている ・発達段階に応じて内容を考えている ・レッスンの内容を記録で残し、前回の内容が確認できるようになっている | ・今後も様々なアイデアを出し合いながら決定していく |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | 9 | 0 | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|-----------|--------|---|-----|---------|---|---------------------------------------|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | 1 | ・レッスン後の振り返り等は、保護者対応者と子ども担当と役割分担している ・毎朝必ず打ち合わせを行っている | ・話し合った内容をその日のスタッフ全員と共有する |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 8 | 1 | ・サービス提供票を使い、確認をしている ・支援者が気付いた点や疑問点が生じた時は、スタッフ間で話し合っている ・それぞれが気付いた点を伝え合ったり、記録に残している ・気付いた点は職員が確認をする記録票に残し、その場にいなかった職員も共有できるようになっている | ・支援を記録で残し、スタッフ間で共有しやすい仕組み作りを引き続き行っていく |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 9 | 0 | ・記録に残し、その場にいなかった職員とも情報共有できるようにしている | ・引き続き行っていく |
| | 20 | 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 9 | 0 | ・支援ごとにモニタリングシートの記入を行っている | ・必要に応じて見直しを行っていく |
| 関係機関や保護者と | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 9 | 0 | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 9 | 0 | ・まめの木の定期巡回相談を利用し、連携を行っている | ・引き続き継続していく |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 2 | 1 | 未回答：6 ・現在支援の子はいないが、市として医療的ケアが必要な子どもを支援するための協議会が開かれる予定となっている ・該当者なし | ・必要に応じて適切な対応を行っていく |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 1 | 1 | 未回答：7 ・該当者なし | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 9 | 0 | ・保護者の要望に応じ、園を訪問したり、電話で情報共有を行っている | ・引き続き連携を深めていく |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---|----|--|----|-----|--|-------------------------------------|
| の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 9 | 0 | ・保護者の要望に応じ、学校訪問を行ったり電話で情報共有を行っている | ・引き続き連携を深めていく |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 9 | 0 | ・まめの木の巡回相談で適切な助言を受けたり、研修に積極的に参加している ・療育相談センターの研修受講、巡回相談にきていただいている | ・より良い支援に向けて積極的に助言や研修を受けていく |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 1 | 7 | ・未回答：1 | |
| | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 7 | 2 | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 9 | 0 | ・面談日を設けて話し合う場を作っている ・毎回、レッスンでの様子を伝え、保護者からも自宅や園での様子を教えてもらうようにしている | ・日頃からの保護者とのコミュニケーションを心掛けていく |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | 7 | 2 | ・直接の支援は行っていないが、市が開催しているペアレントトレーニングを紹介している | ・自事業所内でもペアレント・トレーニングが行えるスタッフの育成を目指す |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 9 | 0 | ・契約時に必ずおこなっている | ・引き続き行っていく |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 9 | 0 | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|------------------------------------|--|----|---|---|----------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 9 | 0 | ・面談や振り返りなどいつでも対応できる体制が整っている ・利用時に保護者からの悩み相談を受けたり、要望により随時面談に応じている | ・随時面談を行っていく |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0 | 8 | 未回答：1 ・わくわくカフェを再開させ、保護者同士が交流できる場を作っていきたい ・保護者同伴のイベントを開催しているが、保護者同士の連携支援までできていない | ・保護者同士の連携が強化できる取り組みを検討していく |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 9 | 0 | ・すみやかに対応している ・随時面接に応じることが可能であることがわかるように掲示し、申し込みがあった場合は迅速に対応している | ・引き続き相談しやすい環境作りを行い、周知していく |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 9 | 0 | ・毎月わくわくだよりを発行し、ブログ更新は月に4回以上行っている | ・引き続き情報発信をしていく |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 9 | 0 | ・ブログは職員でダブルチェック体制、書類棚は施錠している | ・今後も個人情報の取り扱いには気を付けていく |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 9 | 0 | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 8 | 未回答：1 | |
| | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 9 | 0 | | |
| 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 9 | 0 | | | |
| 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 9 | 0 | ・契約時に子どもの状況を伝えてもらい、変化があれば随時報告してもらっている ・保護者の記入欄の確認を受け入れした職員が行い、他の職員に伝えている | ・今後も状況把握に努める | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---|-----------------------------------|
| 非常時等の対応 | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | 2 | 未回答：2 ・食物を提供していない | ・指示書がある場合には共有してもらい、その内容に沿って対応していく |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 9 | 0 | ・日々の支援の中のヒヤリハットを記録し、職員全員で共有している ・ヒヤリハットが起こった際に、その日いなかった職員もわかるようにしている | ・引き続き記録することと情報を共有することを行っていく |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 9 | 0 | ・虐待防止委員会を設置、全職員に対して毎年虐待防止研修を実施 | ・引き続き適切な対応を努める |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 8 | 0 | ・未回答：1 ・会議内で話し合い、組織としてどのように対応するのか認識を一致させている ・対象となる利用者の保護者へ説明し、了解を得たうえで児童発達支援計画に記載している | ・組織的に決定すること、保護者への十分な説明を今後も徹底していく |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。